

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	トライデント・ホライゾン	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.520	△RG	0.049	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール：TRIDENT HORIZON**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

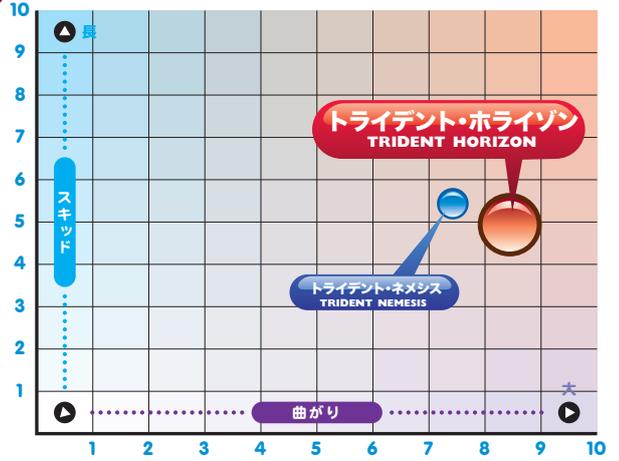
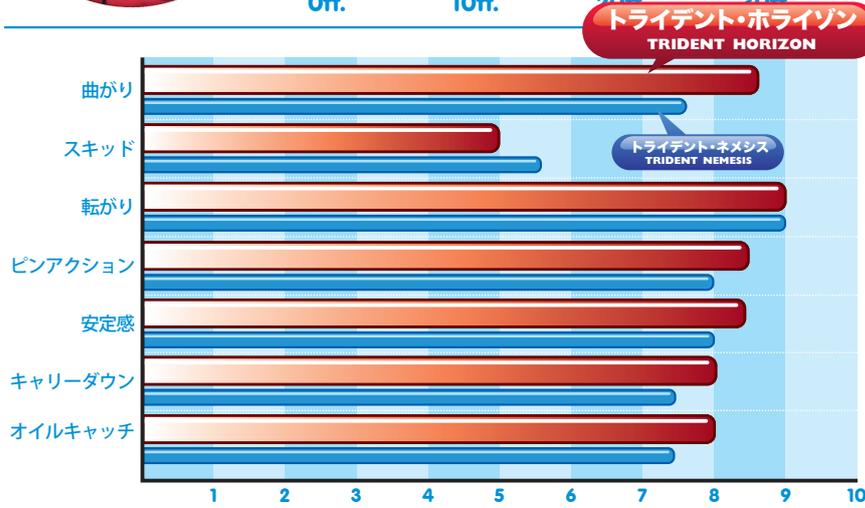
表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

**比較対照ボール：TRIDENT NEMESIS**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

**ボールの評価**

MOTIVのMedium-Heavy Oil対応のボールはFORGEシリーズとTRIDENTシリーズの二つ。FORGEは対称コアを基調とした扱いやすさの中に強さを見出したモデル。TRIDENTは非対称コアで動き出しの安定感と先の動きを強調させたモデルと、同じ領域の中に二つのコアを採用することで各々パフォーマンスを変えて差別化を図っています。

今回TRIDENT NEMESISから約1年ぶりに発売されるTRIDENT HORIZONは、先に発売されキャッチが格段に上がったと定評のあるFORGE FLAREやJACKAL LEGACYと同じCoercion MXCカバーストックのHybridバージョンを採用することで、TRIDENT NEMESISとはまた違う魅力のあるボールとして仕上がってきました。

すでにFORGE FLAREとJACKAL LEGACYで実績のあるカバーストックは今までのTRIDENTシリーズをさらなる領域へと引き上げました。前作TRIDENT NEMESISと比較投球してみると、走り重視したInfusionカバーは比較的ドライゾーンの反応に重点をおき開発されましたが、Coercion MXCカバーはオイルの中のキャッチとブレーキングに重点をおかれているように感じます。

私の場合、前作NEMESISがややスキッドが長く感じたので表面の光沢を少し消すことでシャープなバックエンドはそのままキャッチを強めることができ、超お気に入りのボールになりました。今回のHORIZONはNEMESISの表面加工仕様とはまた違うしっかりとしたブレーキングで、向きの変り方もNEMESISより明確に起き上がるのが見えます。

FORGE FLAREやJACKAL LEGACYまでキャッチはいいけど、しっかりと曲がるボールが欲しいという方におススメです。

**特記事項** Sidewinder CoreとCoercion MXCカバーは相性がよく、スキッドキャッチ、曲がりのイメージがメリハリが効いています。ややキャッチ系のメインボールとして活躍してくれる性能です。